



RITSUMEIKAN

2011年度 第23回 立命館地理学会大会

(後援：立命館大学人文学会)

日時：2011年11月26日(土) 13:00～17:00

場所：立命館大学衣笠キャンパス 敬学館 250 教室 (等持院西の旧テニスコートの場所)

ツーリズム

「災害と観光ー地域観光学の可能性ー」

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、日本全体、特に東北地方に打撃を与えた。観光は観光客を受入れる側が主体的にうまく利用することによって、社会・経済的また文化的にも人々を豊かにさせるものである。よって今回のシンポジウムでは、大きな災害に見舞われた地域が観光を通じていかに再生できるかについて考えてみたい。

スケジュール

13:00 開会 (開会の辞：加藤政洋集會委員長, 代表挨拶：吉越昭久教室主任)

● 卒業論文発表 (13:10～13:50)

13:10～13:30 森田育志 (名古屋大学大学院環境学研究科社会環境学専攻)

「産業集積地域における中小企業のイノベーション形成プロセス
ー大阪府東大阪市の異業種交流会を事例としてー」

13:30～13:50 蔵田典子 (ネットワンシステムズ株式会社)

「京都市における「強制疎開住民」の移転先とその特徴
ー行政文書『都市疎開二依ル移転費交付申請書』の分析からー」

● シンポジウム (13:50～16:15)

13:50 【趣旨説明】 藤巻正己 (立命館大学文学部・教授)

13:50～14:30 【基調講演】 石森秀三 (北海道大学観光学高等研究センター長)

「震災復興に寄与する観光イノベーションー地域観光学への期待ー」

14:30～15:00 【講演1】 神田孝治 (和歌山大学観光学部・准教授)

「被災地の観光振興とイメージ戦略」

15:00～15:30 【講演2】 清水苗穂子 (阪南大学国際観光学部・准教授)

「ツーリズムで東日本を元気に！ーインド洋津波被害におけるタイの事例からー」

(休憩) 15:30～15:40

15:40～16:15 【パネルディスカッション】

座長：江口信清 (立命館大学文学部・教授)

パネリスト：上記講演者3名

ディスカッサント：山田耕生 (帝京大学経済学部・講師)

井上学 (平安女学院大学国際観光学部・講師)

● 総会 (16:15～17:00)

17:00 閉会 (閉会の辞：加藤政洋集會委員長)



クロアチア・ドブロヴニク



スウェーデン・ストックホルム